

## 平成29年度第3回高石市介護保険事業等計画推進委員会

日時:平成29年9月29日(金)午後2時00分

場所 高石市役所別館3階 会議室311、312

### 開会

【事務局】それでは時間となりましたので、第3回高石市介護保険事業等計画推進委員会を開催します。  
本日配布している資料の確認をお願いします。

(事務局資料の確認)

【委員長】(委員長あいさつ)

【事務局】本会議の出欠状況ですが、委員15名中12名の参加で過半数を超え出席されているので、本会議は成立していることを報告します。

【委員長】事務局からの報告のとおり会議は成立していますので進めさせていただきます。

### 案件

#### 議題1 高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画の骨子案について

【委員長】事務局より説明をお願いします。

【事務局】(事務局説明:介護保険事業計画 概要版を元に説明)

【委員】事務局より2025年問題への対応という言い方でしたが、問題というのではなく2025年に向けて介護事業が増加してくるという風にとらえていただき、この事業計画を進めてもらいたいです。

【委員】3ページ目に趣味、生きがいをもっている方が半数以上となっています。7ページ目、高齢者の生きがいづくりが大事だと書いてあり、その通りだと思いました。高齢者をサービスの受け手ではなく、地域社会を支える一員として担い手として活躍してもらうことは大事なことだと思いました。

【委員】重点課題2として介護予防の推進、重点課題3として健康づくりの意識の向上、重点課題4として高齢者の生きがいづくりですが、これはすべてつながりがあります。元気であるために何かやろうとする人はやる、それが生きがいづくりにつながるという方や、生きがいづくりがヘルパー的なお仕事もあるかもしれません。ひそかにやれることが生きがいづくりに含まれているのかと思います。介護予防の推進でも、総合事業の中で担い手として、介護予防いきいき体操を覚えたら地域で広げる役割をしてもらうなど、つながっているような気がします。重点課題として分けていくのがいいのか、つながりが見える形にしてもいいのか。まとめ方の問題で提案させていただきます。

【委員長】重点課題の5つのうち、2、3、4については、大きくくくと、生きがいづくりになります。生きがいづくりも介護予防になりますし、分け方を検討いただきたいということでその意図はありますか。

【事務局】特に個人個人に対してどれか一つやればいいのかではなくそれぞれ関わっていただきたい。本計画の一番の趣旨は、高齢化社会に向けて意識を持っていただくということです。まとめ方、関連があるということは今後検討していきたいです。

【委員】3ページ。介護を受けている方が14.3%となっていますが高齢者のうちの14.3%なのか人口に対しての14.3%なのか。また、主な介護、介助者のヘルパーが50.4%に次いで子もしくは子の配偶者43%となっていますが、子と子の配偶者も介護の中に入るのですか。

【事務局】65歳以上のアンケートをしているので65歳以上のうちの割合ということになります。ヘルパーは介護サービスだと思いますし、子や子の配偶者は家族介護というか家庭内で介護や介助をしているというアンケートの答えだと思っています。

【委員】43%の人は、介護や介助を受けていないこととなりますか。

【事務局】質問的には介護の利用はリンクしておらず、子ども、配偶者が中心的に介助しているということは介護サービスは使っていないと予測できます。

【委員】基本的なことです、地域包括ケア推進課と、健幸づくり課の関係はどうなのですか。

【事務局】前は同じ課でしたが、地域で介護連携やサービスを使ってもらったり、ケアプランを作ったりと、まとめて医療関係と給付を地域包括ケア推進課で担当しています。介護保険の保険料や給付、予算業務が健幸づくり課です。他に後期高齢保険や国保で保険料業務を行っているので分けました。介護保険業務と地域でのケアの考え方を分けてやっていますが、この計画にはそれぞれがかかわるので、共同してやっていくという位置づけです。

【委員長】アンケート結果については、このまま計画に載ることではなく解釈の一つとして作っていただきたいと思います。

【委員】がん検診で、大腸がん検診は少し高め。一時期無料になった期間がありましたが、市では今後行う考えはありますか。

【事務局】がん検診は、年代ごとに区切って無料クーポンを配ったり、未受診の方にクーポンを送ったりそれぞれがん検診に向けて特に初回の人を増やそうと行っています。昨年もターゲットとして数年受けていない方に勧奨通知や無料クーポンを送ったりして実績を検証しているところです。特に若い世代にも受けてもらいたいので、無料クーポンを送ることを考えております。大腸がんについては、無料クーポンと、キットの事前購入によるキックバックの方式もありますのでいろいろ取り組みを考えていながら成果が出たら、次の施策として取り組んでいきたいです。まだ、決定していませんが来年の予算に向けて無料クーポンの検討をしていきたいと考えています。

【委員】胃がん健診、周辺の市は充実した受診体制にあります。高石は、予算もあると思いますが、がん検診はかなり遅れています。肺がん検診3.8%というのもかなり低い。予算の関係もあると思うが、何度か市に要請しているが、実現はしていません。ぜひ検診の向上に向けて予算をつけてもらいたいです。

【委員長】ありがとうございます。

【委員】3ページの終末期の居場所は約6割が自宅を希望とあるが、地域包括ケア支援システムの拡充もしているがこういう意見をしっかり地域包括で実現し計画に入れてもらえればと思います。システムや計画に入れてもらえればありがたいです。高石市は、要望を自治会で行っていますが、個々でいろいろしていて、まとめられる結果が見えてくるような、生産性のあるもの、まとめていけるようなものがないのでしょうか。

【事務局】自治会、老人クラブ単位での活動、保健センターのいきいき100歳体操をばらばらとやっている状況です。成果も含めて、教室の参加も考えていきたいと思ってます。老人クラブの活動について継続してやっていけたら講師の派遣、費用の支援であったり、個々の活動もやっていってもらいながら、成果を聞く要望であったり、健康という成果が出てこないといけないので、検証する教室を合わせてやっていくことを考えていきたいと思います。

【委員長】ほかにありますか。6ページで、がん検診について検討されていくというところで、意見をいただきましたが、自ら健康状態を把握しているという意識向上が重要となっています。ほかの項目は市となっていますが、市と関係機関との取り組みを検討していただきたいと思います。また、特定健診の受診率は平成27年度27.8より28年度は数%上がっていていいと思っています。しかし、大阪府の平均は4割くらいなのでまだ低いと思われますので、6割受けていないという現状と視点をそちらに向けたほうがいいのかと思いました。

【委員】健康づくりの点で、喫煙の防止は重要と感じます。がんの予防にもなり取り組むべきではないでしょうか。

【事務局】健診の際にパンフを配布したりタバコの禁煙外来の案内をやっている状況。禁煙をテーマにした教室は必要だと思うが、受動喫煙とテーマを合わせて検討していきたい。

【委員長】ほかにありますか。骨子については、現在アンケートを実施中で、それを踏まえてご意見をいただければと思います。次に案件2に移ります。

【事務局】(事務局説明:介護保険給付の実績について)

【委員長】ありがとうございました。ただいま介護保険給付について詳しく資料説明していただきました。それにつきましてご質問、ご意見ありますか。

【委員】25、26、27のいろいろな介護サービスにおけるグラフを見せていただきましたが、分析をしているコメントがなかったので、なぜ介護度3からそれ以上の方が下がっているのか分からなかったのですが、今の説明でよく分かりました。もしこういう資料である程度分析できるのであれば、ワンポイントでもどのようなことが想定できるのかコメントを入れていただければありがたかったです。今後30年から32年度の介護保険料の参考とするための給付額を算出するためにこのグラフを使うということでしょうか。

【事務局】7期の保険料を算定するにあたって、6期の給付額を参考資料として扱っていこうと考えています。

【委員】6期と言いますと27から29年の3か年の給付額をベースにして30年度からの3か年の給付を見込むということですか。

【事務局】給付の状況を見て、傾向を調べて、介護の認定率、人口の推計を勘案して、給付費を検討していきたいと考えています。

【委員長】他にありますか。給付費の支給総額が上がったのは件数が上がったからだと言頭で説明ありましたが、1件あたりの額、一人当たりの額はあまり変わらないですが、金額が上がっているのは人数が増えているからという解釈でよろしいでしょうか。

【事務局】給付について介護度が一緒の場合において給付額が伸びているのは、件数が伸びている傾向にあると考えていただいて結構です。介護度が1の方と2の方では1回当たりの単価が違ってくるので給付額が伸びてくるのですが、全体的に件数自体については上がっている幅が給付の伸びの傾向として考えていただければと思います。

【委員長】5ページの訪問看護が要介護1と2あたりが27、28年度に増えているのはどういうことでしょうか。

【事務局】訪問看護の年間の給付額は全体的に毎年1000万円ずつ伸びている傾向にあります。在宅にお住まいの方の利用的ニーズが高まっているという現状があり、傾向として、要介護1、2のニーズが高まっていると認識しています。

【委員長】その場合、その方々によって違うと思いますが、要介護1、2の方は割と受診できたりして少ないのかなと思いますが、そのあたりはどのように解釈すればいいのでしょうか。

【事務局】受診できる部分については、ケアマネージャーや医師の判断により訪問看護が必要だと理解して給付しています。

【委員長】他にありますか。

【委員】介護認定をする上で要介護とかよく分かっているつもりですが、非常に参考になりすばらしい資料だと思います。4年間調べているので、参考にできる資料ではないかと思っています。介護のことは全く分からないのですが、資料の中で、介護施設、小規模多機能型の住宅介護に入っている方をまた市から出向して介護施設サービスをしているのですか。介護施設に入っている人が介護を受ける

のでしょうか。

【事務局】施設に入っている人は施設内で介護サービスを受けていただきます。サービス付高齢者住宅、在宅でしたら訪問されて、介護サービスを受けられる方がいます。

【委員】施設に入っている人は介護を受けられますよね。もし自宅にいる人が介護の施設に入ったら、施設の中で介護を受けるのだから自宅はなくなりますよね。

【事務局】要介護3になると、特別養護老人ホームの給付が伸びています。その代わり居宅の介護給付が減っているという状況にあります。

【委員】概要版で、終末期を在宅で迎えたい人が多いという傾向がありますが、17ページの15の定期巡回型訪問介護、看護の新たにできているものがこの説明では1、2人ということでした。高石市にはそのサービスはなくて、周辺の地域からのサービスとなりますが、これから先訪問介護、看護がニーズとしてあるのかこの間のアンケートからは見えませんでしたけどどうなのでしょう。

【事務局】事業所に意向調査を行いました、その際には、2ページを見ていただくと、地域密着型サービスの右側に看護小規模多機能型居宅介護の参入希望の事業所があります。利用者のニーズを把握して調査し慎重に判断をしていきたいと思います。

【委員】5ページの訪問看護。平成25年から28年にかけて給付費が増えています。サ高住、高齢者住宅がこの3年で増えたような気がします。地域包括ケア会議でもありましたが、地域の人がそこに入ると思います。サ高住によっては、すべてがサービスになってしまう。要介護1、2が増えるということは、給付費の負担が増えているのではないのでしょうか。サ高住と在宅における要介護1、2の訪問介護の給付費を調べていただきたいです。

【事務局】サービス付き高齢者住宅は、高石市内で過剰なサービス提供をしているということですが、利用状況について調査したところ、いくつかのサービス付き高齢者住宅において供給事業所が偏る傾向にあるということが確認できました。ただし入居者への希望を確認せずに全ての入居者に事業所が義務付けているのであれば直ちに指導改善を求めることになっていますが、適切な情報提供をした上で入居者の自己選択の結果、特定の事業所に集中しているのであれば本人の希望によるものとなりますので、事業所に入居者にどのような情報提供しているのか今後も確認してまいります。また全ての利用者が介護保険を利用できるような限度額100%に近いサービスを利用している状況ではありませんでした。過剰なサービス提供が行われることがないように大阪府と連携して指導監督を進めてまいりたいと思います。

## 議題2 その他

【委員長】その他ありますか。事務局よりありましたらお願いします。

【事務局】第4回の日程案内ですが、第4回高石市介護保険事業計画等推進委員会は11月17日金曜に午後2時から今回と同じ会場で開催させていただきます。第4回は高齢者福祉計画及び第7期高石市介護保険事業計画の案についてご審議をいただくことにしております。開催案内とともに資料についてももう少し早く届けさせていただきますのでよろしくお願いいたします。本日はお忙しい中大変お手数をおかけしておりますが、ご理解のほどどうぞよろしくお願いいたします。

【委員長】以上をもちまして平成29年度第3回高石市介護保険事業等計画推進委員会を終了いたします。本日はご協力いただきありがとうございました。